

新規・継続	継続	事業コード 4 - 3 - 3 - ②	事業名 図書館利用サービスの充実			
所管課	生涯学習部		中央図書館	関連課		
事業目標	近代史資料の収集・整理・公開を進めます。また、書誌情報を更新し、図書検索の利便性の向上を図ります。さらに、毎月最終月曜日を除く開館を継続し、利用者サービスの拡大に努めます。					
特記事項						
事業工程	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	事業費推計(千円)
	資料収集・整理・公開 書誌情報の購入	資料収集・整理・公開 書誌情報の購入	資料収集・整理・公開 書誌情報の購入	資料収集・整理・公開 書誌情報の購入	資料収集・整理・公開 書誌情報の購入	政策 41,201
						経常 12,875 合計 54,076
予算額(千円)	11,004	10,789	9,974			31,767
事業実績	資料収集・整理・公開 書誌情報の購入	資料収集・整理・公開 書誌情報の購入 電子図書館の実証 実験を実施	近代史資料室の充実、開館日数の維持			
決算額(千円)	10,589	9,669	9,964			30,222
具体的(数値)目標	所蔵している近代史資料の整理を進め、市民に広く公開します。					
達成率	100%	100%	100%			
協働の相手方	<input type="checkbox"/> 市民 <input type="checkbox"/> 事業者 <input checked="" type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> 自治・町内会 <input type="checkbox"/> その他()					
事業履歴備考						
事業実績(詳細)						
平成21年度	近代史資料室では、ミニ展示「鎌倉鳶(4～6月)」「小学校教科書(8～11月)」や地下ギャラリー展示「鎌倉の谷戸を記録する(9月)」などの展示のほか、「写真展 古都鎌倉へのまなざし記録集・改訂版」「鎌倉アカデミアを伝える会2009記録集」等の出版を行いました。 10月の図書館システムの更新の際、書誌情報をより詳細なものに変更し、図書検索の利便性の向上を図りました。 定期休館日を原則月1回最終月曜日と年末年始の休館日にとどめ、全国レベルで比べても多い開館日数を維持しています。					
平成22年度	近代史資料室では、5月に「鎌倉アカデミアを伝える会2010」を実施するとともに記録集の出版を行いました。 通年では鎌倉の谷戸実地調査・玉縄御用留解説・旧大船町役場調査をボランティアの協力のもと進めました。 平成23年度に行われる図書館開館100周年記念事業における記念誌の編纂を行いました。 定期休館日を原則月1回最終月曜日と年末年始の休館日にとどめ、全国レベルで比べても多い開館日数を維持しています。					
平成23年度	近代史資料室では、図書館開館100周年記念事業の一環として鎌倉文学館他で展示会を実施するとともに、7月には100周年記念展示に参加して古写真等の収集の成果を展示しました。 定期休館日を原則月1回最終月曜日と年末年始の休館日にとどめ、全国レベルで比べても多い平均340日という開館日数を維持しています。 電子図書館については、全国での事例を研究するとともに、電子書籍の普及について調査し導入について研究を行いました。					
平成24年度						
平成25年度						